

# NISA通信

経済産業省  
原子力安全・保安院  
Nuclear and Industrial Safety Agency

2008 Vol. 12



特集

## 中越沖地震における原子力施設に関する 自衛消防及び情報連絡・提供に関する ワーキング・グループの内容が とりまとまる……………2-3

NISAニュース&フラッシュ……………4-5

NISAの窓……………6-7

素顔にズームイン……………8

交流ひろば……………8

原子力安全・保安院では平成19年新潟県中越沖地震による東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所への影響についての事実関係の調査を行うとともに、この地震を踏まえた国及び原子力事業者の今後の課題と対応について、総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会の下に「中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会」を地震発生直後の昨年7月に設置し、検討を行ってきました。本年2月20日に本調査・対策委員会で「中越沖地震における原子力施設に関する自衛消防及び情報連絡・提供に関するワーキング・グループ」の検討結果が了承され、具体的対策を実施するためのアクションプランを策定いたしました。NISA通信第12号の特集記事ではその内容を紹介いたします。

原子力安全・保安院長から  
地域の皆さまへ  
原子力安全・保安院長  
薦田 康久



本年2月20日に「中越沖地震における原子力施設に関する自衛消防及び情報連絡・提供に関するワーキング・グループ」の検討結果が了承され、原子力安全・保安院がこれを踏まえて実行するアクションプランも策定しました。今後は、このアクションプランに従ってしっかりと実行に移していくことが私達の責任だと考えております。

## NISA<sub>[ニサ]</sub>の使命

原子力安全・保安院(NISA)は、エネルギー施設や産業活動の安全確保を使命として、平成13年1月に発足。国民の皆様  
の安全を守る立場から、事業者に対して厳格な「安全規制」で、原子力施設等の安全を確保する責任を担っています。